学校番号	309

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）						
副教材等	筆（大・小）　固型墨　半紙（漢字用・仮名用）　半切　印材　印刀　作品集　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業での作品制作・鑑賞・レポートを通して、書の表現の方法を身につけ、書の伝統や文化に触れ、書の美の価値と美しさを深く味わい考えていきます。

2　学習の到達目標

(1)　書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)　書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)　主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、古典と歴史に基づいた書の効果的な表現の技能を身に着け表している。 文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え書の良さや美しさを創造的に味わっている。	書表現の諸要素を感受し感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫して身に着ける。	書の創造的活動の喜びを味わい書の伝統と文化、歴史に関心を持って主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	文字の造形を学ぶ 〈楷書〉 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 龍門の書	a：書写と書道の違いと時代背景による書の美との関係が理解できているか。 b：楷書の文字構造に対しての造形表現と用筆表現が的確であるか。 c：古典の楷書の書体に関心、興味が持てるか。	ワークシート 提出物	提出作品 ワークシート	観察 ワークシート
		文字の造形を学ぶ 〈行書〉 蘭亭序	a：書写と書道の違いと時代背景による書の美との関係が理解できているか。 b：行書の流動美による文字構造に対しての造形表現と用筆表現が的確であるか。 c：古典の行書の書体に関心、興味が持てるか。	ワークシート 提出物	提出作品 ワークシート	観察 ワークシート
2	漢字の書	文字の造形を学ぶ 〈行書〉 争座位文稿 風信帖 〈草書〉 真草千字文	a：用筆の技術と運腕の技術が連動しているか。 b：行書と草書の流動美による文字構造に対しての造形表現と用筆表現が的確であるか。 c：古典の行書と草書の書体に関心、興味が持てるか。	ワークシート 提出物	提出作品 ワークシート	観察 ワークシート

	仮名の書	文字の造形を古筆に見る表現方法に学ぶ いろは歌 蓬莱切 高野切第三種 寸松庵色紙	a: 用筆の技術と運腕の技術が連動しているか。 b: 仮名の流動美による文字構造に対しての造形表現と用筆表現が的確であるか。 c: 古筆による仮名の造形と流動美に関心、興味が持てるか。	ワークシート	提出作品	観察 ワークシート
3	篆刻	篆刻 篆刻に挑戦する	a: 篆書の知識と印稿と運刀の技術が理解できているか。 b:古典作品と創作作品を鑑賞し、篆刻作品の表現が理解できているか。 c:毛筆とは違う書道の美に対して関心、興味が持てるか。	ワークシート	提出作品	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度